



# 安中だより【第15号】

令和7年 12月 10日

TEL32-0057 FAX32-4377

【文責 校長 浦島 容子】

## じっくり話しましょう 三者懇談会(12月16日から)

2学期終盤となり、各教科の評定が確定し、学校生活における行動とその活躍が三者懇談会で通知されます。今学期末、3年生には1、2学期を総合した評価(個人調査報告書と同じ評価)が通知されることとなります。これは、今年度から県内公立の入試制度が大きく変わったことによります。1、2年生には、2学期の評定を通知します。

### 県内公立高校の新入試制度

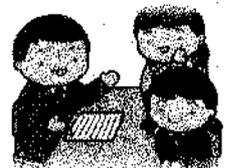
- ・「学校独自型選抜」と「一般型選抜」があり、受検方法を選択する。いずれを選択しても学力検査を受検する。
- ・「学校独自型選抜」では、「自己推薦」と「中学校長推薦」がある。「自己推薦」は、自分の活動実績とそれに対する意欲や興味関心を伝える。
- ・「学校独自型選抜」の受検者は、「学校独自検査の結果」と、「学力検査の結果」と「個人調査報告書」に基づき判定される。
- ・「一般型選抜」の受検者は、「学力検査の結果」と「個人調査報告書」に基づき判定される。

これらが大きな変更点です。「学校独自型選抜」は、設定されている学校とそうでない学校があります。設定されている学校には条件が示されています。3年生は、1学期にお知らせした1年時、2年時の評定と今回の評定を確認し、三者懇談会で相談してください。また、進路を明確にし、今の時期をどう過ごすか、具体的な対策を考える機会としてほしいと思います。入試に関する事務的なことにはミスが許されません。出願方法が変わっていますので、担任としっかり確認してください。

3年間を通じて学校で積み上げた力がより評価される入試制度となりました。3年間の学校での頑張りが目標達成に大きく影響するということです。学校生活における行動の記録には特に注目してください。

1、2年生には、3学期末に1年間を総合したものを通知します。学習面、生活面における総合的な評価ですので、今から来年、再来年を見据えることができます。今の努力が「夢や目標」の実現に近づいていると実感することができ、「努力を要する」点は振り返り、見直すこともできます。担任とじっくりとこれからのことを話してください。

三者懇談会は自分の目標達成に向かうスタート地点です。さらなる前向きな気持ちにつながるよう、有意義な時間にしてほしいと思います。



## 速報 安中のここから その2

### 芸術の秋

11月後半より高島市青少年美術展覧会開催されました。書、平面、立体の3部門に72名の作品が入選し、そのうち20名が特選、16名が佳作に入賞しました。安中生の作品を市内の多くの方々に見ていただくことができたのはうれしいことです。

10月に行われたJA書道展で1名の生徒が銀賞を受賞しました。さらに、11月27日毎日新聞に、毎日紙上滋賀書道展で1名が銅賞で作品が掲載され、2名が佳作に入賞しました。

県外のグループ展に参加している生徒のイラストが、教育通信に10月、11月号連続で掲載されました。芸術の秋、一人ひとりの持つ感性がひかり、多くの人の目に留まっています。

### スポーツの秋

ソフトテニス部はインドア大会で力を発揮しています。サッカー部はびわこ成蹊スポーツ大学の学生にアドバイスをもらいながら練習をしています。外部で活動するハンドボールも来年度の大会に向けた予選が始まりました。様々なところで、次を見据えた動きが始まっています。

### 芸術部門 安中生表彰

青少年読書感想文コンクール 優秀賞5名

藤樹先生書写書道作品展 入選23名

特選 2名

税についての作文入賞 3名

滋賀県学生科学展 佳作1名

学校給食用料理コンクール佳作1名

Horizon 作文コンクール

優秀賞1名

## どんどん！ ボランティア活動！

安曇川住民自治協議会がクリーンアップ作戦第2弾を実施されました。11月29日(土)、安中生が地域の方と一緒に町内のゴミ拾いをしました。子どもたちが考え、積極的に参加をしたと聞きました。また、12月6日(土)は世代交流センターで「ふくしまつり」が開催され、屋台の手伝いをしたり、吹奏楽部は演奏を披露したりしました。吹奏楽部への演奏オファーがどんどん入っています。地域の方々が安中生の休日の活躍を喜び、学校に報告して下さいます。うれしいことです。

保護者の学校づくり実行委員会は、9月からずっと朝の挨拶運動を継続して下さいました。挨拶に加えて、「昨日ありがとうね」とか、「風邪ひいたの?」など一人ひとりへの声かけがやみません。12月ですが温かい朝を迎えています。



## 楽しかったよ～ またやってほしい～

安曇川住民自治協議会やコミュニティスクールの皆さんの呼びかけにより80名以上の方が集まって下さいました。二重の円をつくり、大人と1年生生徒が1対1で出会い、トークをしながら進む「トーク・フォークダンス」を実施したのです。ファシリテーターは高島町出身の西川正さんです。「昨日何をして過ごしましたか」から始まり、「ドラえもののどこでもドアがあったらどこに行きたいですか」「子どものころ好きになった人はどんな人か」などと次々に話したくなるテーマをくださり、終始笑顔でした。

参加者から「呼んで下さりありがとうございました。」とたくさんの声が届きました。子どもたちは「もう一回やりたい!」「こんなに楽しく話ができるのっていい!」と言いました。多くの大人との対話を通して子どもたちは心を豊かにしています。

